

# 「イチジク」の販路拡大に向けて

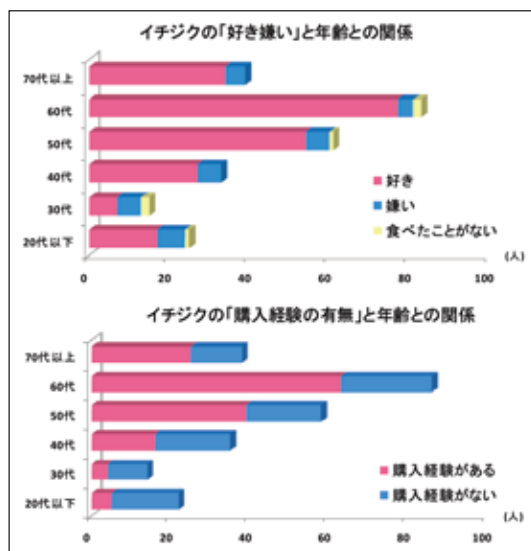
国営母畑地区（S42～H9）では、事業完了後、水稻、りんご、きゅうり、トマト等が栽培されていますが、近年、栽培管理に手間がかからないイチジク、そばの栽培に取り組む農家の方が増えてきています。

国営母畑地区営農推進連絡会では、農地の有効活用を図る上で期待されているイチジクの販路拡大を図るため、イチジクの消費動向についてアンケート調査を行いましたので、その概要を紹介します。

この調査は、イチジクの消費動向の把握を目的として、平成21年10月3日（土）～4日（日）、福島県玉川村の道の駅「たまかわ」にある生産物直売所「こぶしの里」で、来場者の性別、年齢の他、購入する量や食べ方等についてアンケート調査を行い、2日間で270人から回答をいただくことができました。

アンケート調査結果に基づいて、イチジクの消費動向に関する分析を行った結果、「年齢」がイチジクの消費動向に最も影響する要因であることがわかりました。

今後、イチジクの更なる販路拡大に向けて、①40代以下の年齢層をターゲットとしたケーキ屋等との連携による加工品開発、②PR イベントの開催等について、営農推進連絡会で検討していくこととしています。



玉川村生産物直売所「こぶしの里」



アンケート調査実施状況

## 東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰を再開します

本表彰は、土地改良事業を契機に生産対策等に積極的に取り組み、安定した営農の定着が進んでいる事例に対して表彰を行い、その内容・成果を広く普及することにより、東北農政局管内の土地改良事業地区における農業経営の安定化の促進及び事業の円滑な推進を目的として、平成5年より実施しているものです。

今年度は、表彰を始めて17年目を迎えたことから受賞者へのアンケート調査を行い表彰の効果を確認するとともに、審査体制や審査内容についても見直しを行ったため、表彰をお休みしました。平成22年度から本表彰を再開しますので、関係機関の皆様の御協力をお願いいたします。

### 編集 後記

「もえび」へのご意見等、お待ちしております。また、「もえび」は東北農政局ホームページでもご覧になれます。<http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/sigenka/moebi/index.html>

「もえび」は春先に萌えでる草花のように、明日に向け力強く、農業（農家）が発展することを目指して命名しました。今後とも整備された基盤を有効に活用した営農の早期定着に向け、最近の農業情勢や東北管内の営農情報等を掲載し、東北農業が力強く萌え出る草花のように生き活きと明日を目指すためのお手伝いをしていきたいと思っております。